

⑯アレチウリ

アレチウリ (*Sicyos angulatus* Linn.) ウリ科 原産地：北アメリカ

導入経緯：アメリカ、カナダからの輸入大豆に種子が混入し、国内に導入され拡大したとされる。近年では飼料畑や河川敷で多数の生育が確認されている。

生 態：土壤環境に対する適応性が大きく、有機質の多い汚染河川岸に非常に多く生育する。1株あたり400～500個の種子をつける。種子には休眠性がある。

【調査結果概要】

文献調査によると県内においては20市町村で確認記録がある。また、アンケート調査からは、24市町村での目撃情報が寄せられており、県内のはほぼ全域において確認されている状況である。阿武隈川、阿賀川流域のほか、浜通り地方の河川流域でも分布が確認されており、河川敷、荒地等の日当たりの良い場所を好むことから、河川流域を中心として県内全域に広く分布しているものと考えられる。本種による影響としては、アンケート調査によりヨシ、ウマノスズクサ、ヨモギ等の川原に生育する草本植物を被圧することが報告されている。

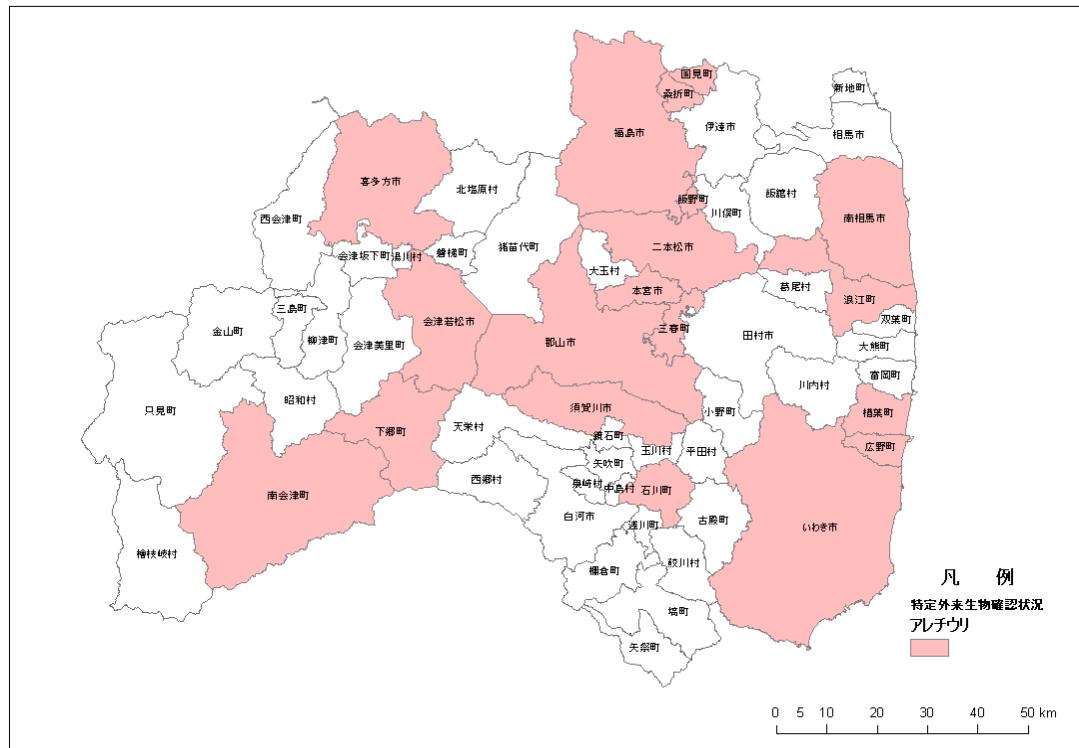


福島県野生動植物保護アドバイザー
中山 實氏 撮影



二本松市内
福島県野生動植物保護センター
須賀 紀一氏 撮影

文献調査によりアレチウリが確認された市町村



アンケート調査によりアレチウリが確認された市町村

